

---

# 心詩 -ココロウタ-

翼

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

心詩 - ココロウタ -

### 【Nコード】

N3496Y

### 【作者名】

翼

### 【あらすじ】

君は涙の流し方を知らない

## 001\*キミノソバニ

僕が君の側に居ないと君が形を変えてしまつように  
君が僕の側に居ないと笑つていられない。

例えどんなに遠く離れようとも

絆は変わらない訳じゃない。

けれどそれは

細く切れやすい絆なんかじゃない。

もつと切れにくく固く簡単には離れない。

そんな絆だつてこと、忘れないでね。

もしも、二度と会えなくなつても

僕の心にはいつでも君がいるよ。

もしも、二度と会えなくなつても

僕はいつでも会いに行ける。

いつだつてどこだつて

僕は君の側に。

## 002\*ミライへ

生きていれば思う

人生に、この世界には、

正しい道なんて無いのではないのか。

真実なんて無いのではないのか。

人の未来なんて決める物じゃない

自分で決める物だ

自由に行動すればいい

自分の道だから、他の者は入り込めない

入り込めないけれど、人生の一部とは成れる

その者の友人、仲間となり、共に笑い、共に助け、共に泣き、

その者の一番の味方となれ。

自分が信じた道を選び、そして

己の道を進め。

嘘だらけのこの世界で

新たな道を見つけ出すのは難しい

けれどそれは、探そうとして探しては

絶対に見つからない

生きていればいい

そうすればきつと、

君が進む道が見つかるんだ。

## 003\*アオイナミダ

その日、僕は己の弱さを知った。  
何でこんな所で泣いているんだろう。

真っ青な空に手をかざした。

「ニドトキミニアエナイ」

それはどんなに辛い事か。

「努力次第で会える。」

そんな甘い世の中じゃないって  
分かっているのにな。

空が落ちた世界は想像出来ないように

君のいない世界なんか想像も何も出来ないんだ。

君がずっと側で支えてくれていたから。

無理矢理とは言わないけれど

君だって愛してもいいんだよ。

上手く言えないけれど

僕は君が好きだから。

004\* 工ガオ

君の手を握り締める夢を見た  
共に助け合い励まし合う二人

君の手を掴んだ時

その手は暖かった

この手のように君の心は温かいのかな

どんなに辛くても

どんなに悲しくても

君は側で笑ってくれた

君は今でも側にいるのに

その笑顔が恋しくなるのは

何故？

そんな風に見えないかもしれなければ

僕だって怖いんだよ

君が遠くに行ってしまう事を想像すれば

怖いよ

側に居てよ

君の心は温かいんだね

どうしても行ってしまうのなら

僕に永遠の絆をください

005\*トモダチ

悔しかったんだ。

「大好きだよ」って

そんなに簡単な言葉なのに

言えなかった僕を

自分自身を憎んでいた。

君もそうやって

「大好き」って

言ってくれていたのに

分かってたのに

信じてたのに

僕は君を

心の奥まで信じてなかった。

怖かったんだ。

そんな言葉を言っても

疑う気持ちだっただってあったんだ。

ごめん

酷すぎるよね。

僕が幾ら君を知っていても

僕は君を分らないから

けれど僕は君を信じてるよ。

再び心が通じ合った時

嬉しかったんだ。

君は僕を信じてる

そう思う事が出来たから

僕はきつと君を忘れない。

もしも忘れたとしても

君は僕の心の奥で笑っているから。

大好きだよ。



006\*ヒマワリ

ひまわりは好きだ

その花を見るとまるで

僕を支えてくれた君みたいで

笑顔で僕の側にいてくれた君みたいで

元気がついた

けれどそれは一瞬の出来事だったんだ

気がつけば

時は早く過ぎていた

君は側にはいなかった

君は突然

何処か手の届かないくらい

遠くへ行ってしまったんだ

戻って来てよ

言い忘れた言葉があるから

言わなければならぬ言葉があるから

僕は此処にいるよ

待ってるよ

答えてよ

どうしても戻れないなら

僕が会いに行く

会いたいよ

「ありがとう」

007\*テガミ

手を伸ばせば其処には

君の仲間がいる

例えそれが君の憎む相手だとしても

憎む相手だとしても

その相手の笑顔が好きなら

その相手と話す事が好きなら

仲間だよ

互いに憎み合っていても

心の奥で心配している君がいる

互いに伝えられないなら

心の奥で願っている君がいる

もう一回

君はもう一回立ち上がれる

もう一度走り出せる

もう一度届けられる

だからもう一度

素直になりなよ

チャンスはあるのだから

無駄にしないでよ

疲れていないなら

前を向いて走れ

振り返るにはまだ早いよ

行ってこい

## 008\*ナグサメ

「君は僕を覚えていてくれる？」

君は僕に問いかけた

「大丈夫、忘れないよ」

僕は強がって言ってみせた

本当は少し自身が無いんだ

忘れてしまうのが怖くなつて

「忘れない、きつと忘れない」って

自分自身に言い聞かせた

僕が大きな傷を負った時

君は心配してくれた  
でも

嬉しくなかったのは

これ以上、心配掛けさせたくなかった

「大丈夫、僕は大丈夫」

僕は君に嘘をついた

これが本当についていい嘘なら

本当に良かったのね

冷え切った感情捨てようよ

前を向いて一緒に走り出そう

僕は慰める事得意じゃないから

君が泣いたら一緒に走れないよ

分かってる

君が僕の心の中にいる事

僕は君を嫌いにならない事

分かってる

人生に友情なんかなくなつて  
生きていられる事

でも僕が絆を欲しがる理由は  
友達と居る時間が一番楽しいから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3496y/>

---

心詩 -ココロウタ-

2011年11月28日03時45分発行